

花鳥風月・短歌

ボール蹴る右へ左へ歓声が

まるで大きな津波の様に

佐伯 定則

封筒に银杏入れしレンチンを

「パンパパーンパン」美味ひすい色

石井 トシ子

亡き母が我に残した白無垢衣

着る日近ずきそつと手通す

一色 ノブ

何事もなくてよかったそう思う

年にしたいと年頭所感

徳永 誠一

葉のうらや蟬の抜け殻二つ三つ

今年の夏の命の名残り

塗塀  
良子

曾婆々が曾孫のためのミツ身縫い

髪結着付けカメラに収め

小林  
泰子